

第 56 年度事業計画(案)

【基本方針】

令和元年度の我が国経済は、内需を中心とする緩やかな回復基調を持続させ、GDPは名目・実質ともに過去最大規模に達した。しかし、一方、中国経済の先行き、英国のEU離脱、中東地域を巡る情勢等の海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響に加え、消費税率の引上げによる国内景気への影響等、留意すべき様々なリスクが表出した。

さらに2019年末に中国で発生した新型コロナウイルス感染症は、世界各国に広がり現在もなお終息する見通しが立たない状況にある。日本国内でも感染が拡大し、全国に緊急事態宣言が出され、世界的規模で影響が拡大し、戦後最大の危機と言われている。また、2020夏に予定されていた東京オリンピック・パラリンピックが延期となり(2021年夏までの実施)、我が国経済を取り巻く環境は不透明感を強めている。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でジャグラの歴史では初めて、高知開催の予定だった全国大会が中止となった。大変残念であるが、開催に向けて尽力していただいた高知県支部、四国地協の皆様には感謝申し上げます。

このような中、印刷業においては、印刷需要減少が続き、非常に厳しい経営環境が続いている。さらに、印刷産業を取り巻く環境は大きく変わろうとしている。IoTやAI、クラウド化などの進展による自動化や効率化などを目指した製造面での新たな取り組みに加え、働き方改革や国連の提唱するSDGsへの対応など、企業として取り組むべき課題も多い。

そこで、ジャグラは「強いジャグラ～繊細に～」を掲げ、財政問題を解決しながら、ジャグラ会員と全国の支部、地協と本部が一体となり邁進していく。

具体的には委員会構成をビジネス拡大事業、経営基盤事業、コミュニケーション事業、広報事業、コンテスト事業、クロスメディア研究事業の6個の事業に再編する。事業および委員会については優先順位を決めて仕分けし、再編成することで、全体の予算を縮小し、より成果が望めるような体制を構築する。

ビジネス拡大事業では、印刷物創注委員会、マーケティング委員会などを通して、印刷物や印刷物以外のビジネスの仕組みを模索、推進していく。経営基盤事業では、生産性向上委員会、経営技術研究委員会として経営に関わる諸問題を解決すべく事業を推進する。コミュニケーション事業では、地協・支部活動を支援するほか、マスターズクラブやSPACE21など世代を超えた会員間のコミュニケーションを支援する。広報事業では、広報委員会とジャグラBB委員会として、機関紙月刊グラフィックサービスやWebサイト、インターネット放送のジャグラBBの企画運営を推進する。コンテスト事業では作品展や年賀状デザインコンテストなど、ジャグラが主催するコンテスト事業について普及拡大を図る。クロスメディア研究事業では、ジャグラコンテスト(InDesign、illustrator)の実施やジャグラプロフェッショナル

ヨナルDTP&Web スクールの運営を支援する。さらに、日本自費出版文化賞を始めとして自費出版ネットワークとの連携や個人情報保護の推進とプライバシーマーク普及を含め、個人情報保護委員会を継続発展させていく。また、組織拡大についても積極的に取り組んでいく。

ジャグラはこれらの活動を推進するなかで、役職員一体となって事業の成果を上げ、難局を乗り越えていきたい。

【個別事業】

〔1〕 総務委員会

1. 総務委員会
 - ①委員会統括
 - ②総務全般
 - ③財政全般
 - ④会館運営
 - ⑤公益法人改革への対応
 - ⑥災害時非常時の対応
 - ⑦その他

〔2〕 ビジネス拡大事業

1. 印刷物創注委員会
 - ①印刷メディアを中心としたビジネスモデル研究
 - ②ビジネスモデル紹介
2. マーケティング委員会
 - ①刷るという工程だけに依存しない他メディア、他サービスの研究
 - ②印刷以外のアウトプットについての研究と実践
 - ③ビジネスモデル紹介

〔3〕 経営基盤事業

1. 生産性向上委員会
 - ①新次元の生産性向上を目指し、ICT、IoTの技術研究、活用方法を研究する
 - ②ICT、IoTを使った印刷オペレーション、工程管理、損益管理等
2. 経営技術研究委員会
 - ①中小企業（小規模事業所）にも効果のある働き方改革の提案
 - ②効果（売上・利益）を出している企業の取り組みを研究
 - ③多様な価値を創出することで、地域貢献（CSR、SDGs）にも繋がる

〔4〕 コミュニケーション事業

1. 地協・支部支援
 - ①組織拡大
 - ②地協の活性化
 - ③マスターズクラブ、SPACE-21との連携
2. マスターズクラブ
 - ①ジャグラ役員経験者を中心として構成する
 - ②ジャグラの活動に協力する
3. SPACE-21
 - ①SPACE-21のバックボーンとなる活動・体制の確立を目指す
 - ②全国各地域青年部の活性化に力を入れる

〔5〕 広報事業

1. 広報委員会

- ①各事業部との情報共有
- ②機関紙の企画・編集・発行
- ③ジャグラホームページの運営
- ④その他

2. ジャグラ BB 委員会

- ①ジャグラ BB の企画・運営を行う
- ②教育研修、情報提供を行う
- ③その他

〔6〕 コンテスト事業

1. 年賀状コンテスト委員会

- ①年賀状デザインコンテストの運営
- ②年賀状を通じてデザインレベル向上

2. 作品展

- ①ジャグラ作品展の内容を検討
- ②ジャグラ作品展の審査運営
- ③作品展を通じて企画提案、デザイン力向上を図る

〔7〕 クロスメディア研究事業

1. ジャグラコンテスト委員会

- ①ジャグラコンテスト運営全般
- ②ジャグラコンテスト運営のための専門委員会議
- ③DTPオペレーターとして継承すべき高度な技能向上を図る

2. プロフェッショナル DTP&Web 教室

- ①プロフェッショナル DTP&Web 教室の運営
- ②DTP や Web、動画配信など最新技術教育を実施

〔8〕 個人情報保護委員会

- ①個人情報保護の推進
- ②プライバシーマークの普及
- ③その他

〔9〕 その他

1. 日本自費出版文化賞

- ①日本自費出版文化賞を主催する。
- ②同賞の運営を自費出版ネットワークに委託する

2. プライバシーマーク審査会

- ①プライバシーマークの審査機関として活動する